

「東京と世界をつなぐアクティブシチズンワークショップ」を開催しました

12月の全3回、中・高・大学生世代の青少年を対象にしたオンライン・ワークショップを実施しました。社会課題をワークショップ形式で楽しく学び、「アクティブ・シチズンシップ（市民性）」を高めることを目的にしたプログラムです。

1日目は、世界の人口・食糧・所得・オリンピックメダル獲得数など、多様な切り口から世界を分析し、そこから見えてくる課題について学びました。また、「子どもの権利条約」についても学び、子どもの権利・意見を尊重する重要性等を、児童労働の課題と絡めて考えました。2日目は、フィリピンと中継を繋ぎ、ゴミ山やスラム街を歩くオンラインスタディーツアーを実施しました。現地の様子をリアルタイムで見ながら、現地の人たちに質問をし、意見交換などを行いました。3日目は、今の自分達に何ができるのか、「好きなこと・得意なこと」を活かして社会貢献活動に取り組むためのアクションの起こし方、目標のたて方について学びました。

世界の社会課題に向き合い、一人の「市民」として考え、行動する重要性を学べるプログラムとなりました。



東京と世界をつなぐ アクティブシチズン ワークショップ

